

「渚の交番・HIMETATSU」

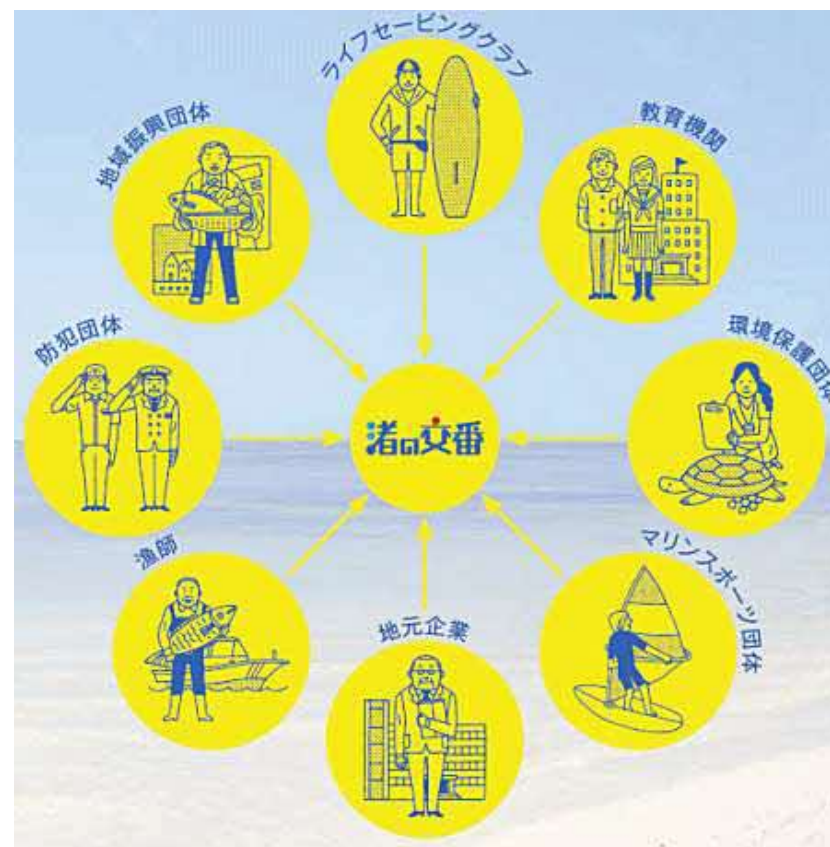


NPO法人おもいでつくる水俣

渚の交番とは

地域社会における海と人のつながりを構築することを目的に、海辺の様々な活動、活動に係る人、そして情報を横断するような拠点を整備するプロジェクトです。

(各拠点により関係団体が異なります)



HIMETATSUは水俣の「海を守る」プログラムと「海を活用する」プログラムという2つの方向性で過去・現在の水俣の海を次世代に引き継いでいく拠点です。

水俣病

- 正式名称
- 1966年
- 原因
- チソノが海に流したメチル水銀
- 症状
- 感覚や言語の障害、手足の痺れなど
- 認定された患者
- 2283人
- 発症前患者での胎児が患者
- 4267人



過去から現在の水俣の海

海を守るプログラム



海を活用するプログラム



海を伝えるプログラム



次世代につなぐ

海を守るプログラム 全体の考え方

戦後の高度経済成長期に、公害に汚染され「死の海」と呼ばれた海が、人々の弛まぬ努力と自然の力によって、「ヒメタツ」が生息するほどの豊かな海へ蘇っています。環境首都水俣だから伝えられる環境の復元と海の大切さがあります。



水俣病資料館等と連携したプログラムによって、水俣の過去と現在について学習し、実際に海での体験によって学んでもらい、**水俣の海を守り・次世代につないでいく人材を育てます。**

海を守るプログラム

①水俣病資料館、企業、団体と連携した海体験



マリンアクティビティを通して今の水俣の海を体験。そのうえで、水俣病資料館等で水俣病の歴史と海の環境保全について学ぶことにより、体験したきれいな海を守っていききたい、という想いを参加者により強く醸成していきます。



今の水俣の海を体験（アクティビティ・生き物）
水俣の歴史も学べます。

体験→深い知識のインプット、という手順を踏むことにより、
より深い想いを醸成します。

海を守るプログラム

② 「ヒメタツと海の仲間たちに出会える観察会」



ヒメタツを地元ダイバーがその場で潜って捕獲し、観察、解説します。また潮間帯に棲むウミウシや貝などの生き物を観察、自然観察指導員などのプロが解説します。

水俣の人間だからこそ伝えられる海の大切さを子どもたちに伝えます。



その場でヒメタツを見れることもあります。

暖かい季節は海の中に入って観察できます。

水俣の海の今の、生き物の多様性を学びます。



海を守るプログラム

③ 「藻場再生のためのウニ駆除プログラム」



海的环境を守るために来場者に遠浅の岩場で藻場再生のためのウニ駆除イベントやプログラムを実施。

水俣の海により深く関わってもらう人々を増やし、水俣の海を将来につないでいきます。



水俣の海を守る活動を実際に体験するプログラム。

藻場再生を学びつつ天敵を駆除することで、参加者の日常生活における海産物に対する意識変容も図る。

海を活用するプログラム 全体の考え方



環境省の水質調査で最高ランクの「適AA」を毎年獲得している透明度の高い美しい海を体験や食など一般の人に親しみやすい形で活用・提供することにより、海に来てもらいやすい状況をつくります。

海にそれほど興味を持っていない層にも「行ってみたい」・「やってみたい」を生み出すプログラム構成にすることにより、**海への好奇心を創出し、海へのアクションを起こすきっかけをつくります。**

海を活用するプログラム

① 「海に親しむパドルスポーツ」



水俣の海を心と体で感じるパドルスポーツを提供します。初めてでも簡単に乗れるシーカヤックやSUPを通して思い出に残り、再び水俣を訪れたいくなる体験を行います



Point! 

今のきれいな水俣の海を実際に体験してもらう。
予約制でダイビングできるプログラムも用意し、より深い海の体験もできる。



海を活用するプログラム

②参加体験型「ワークショップの開催」



海の景観と環境を守るためのビーチクリーンや流木アート、貝殻を使ったアクセサリーづくりなど各種ワークショップを開催。参加体験型にすることにより、自分だけの水俣の思い出をつくることができます。



水俣の海を守るための活動を参加体験型ワークショップに。自分で動いたことが海を守ることにつながる体験になる。水俣から帰っても、水俣の海を思い出すきっかけとなる世界に1つだけのグッズ。

海を守るプログラム＋海を活用するプログラム 海藻の森を守る海に親しむ渚の藻場再生カフェ「ひめ」



海藻を食べてしまうガンガゼとムラサキウニを駆除し、それをカフェで提供することで、海藻の森を守り、美味しく海の保全を考えながら楽しめるプログラムです。



ウニを美味しく駆除することで藻場の再生につなげる
ウニの殻も活用し、ウニ殻肥料の作成やウニ塩も制作予定

海を伝えるプログラム 「潜らなくても海中散歩」



水俣の現在の海の様子を特殊な機材を使ってダイバーが生中継。潜らなくても海中散歩気分を味わえます。運がよければヒメタツのハートが見られる。



Point!

モニターを通して現在の様子を見ることができます。
ダイバーと特殊マイクで話ができます。

渚の交番・みなまたイメージ図（外観）

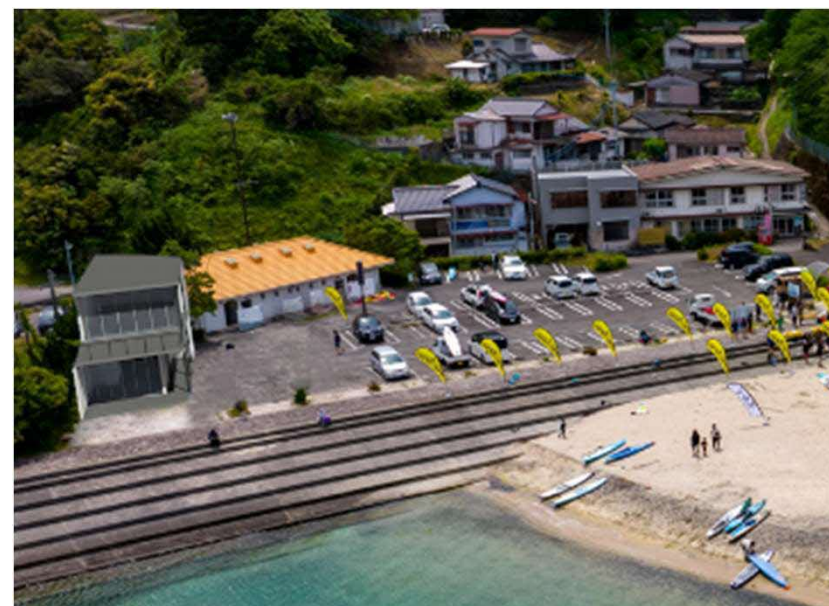


建物（2階建て）

1階：事務室、ホール（屋内活動、アクティビティ案内）

屋外活動・屋外作業スペース・売店

2階：レストラン、テラス



渚の交番・みなまたイメージ図（内部）

1 F



地域のコミュニティスペース

地域との交流拠点やワークショップ開催時の会場

ミニ図書館

水俣の歴史や海洋に関する書籍・絵本を設置。来場者が自由に閲覧可能。

2 F



渚の藻場再生カフェ

海藻の海を守り楽しめる、海岸を臨むことのできる開放感のあるカフェ

海風を感じるテラス

屋外型テラス席を設置。イベント時のステージにも使用